

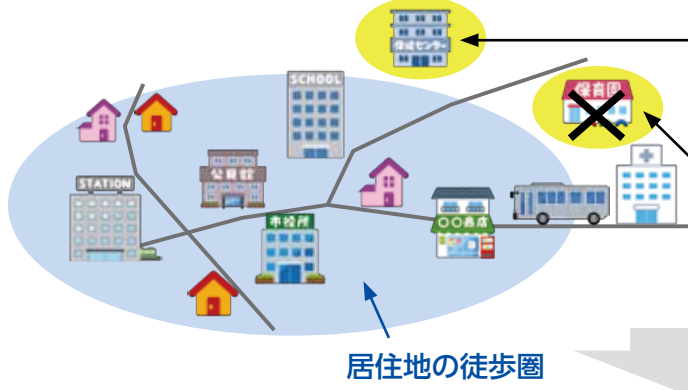
都市機能増進施設が運営を続けるにあたっての課題



都市機能増進施設

特に生活サービス施設は利用客の確保が必須
居住者が徒歩・自転車で利用できる範囲、公共交通
で利用しやすい範囲に立地することが重要です。

施設の立地が郊外または
交通利便性が低い場合



居住地の徒歩圏

徒歩利用が不便で、自動車移動の依存を高める

自動車を運転できない高齢者などは暮らしやす
さの低下に直結してしまいます。

施設の流出・撤退の可能性を高める

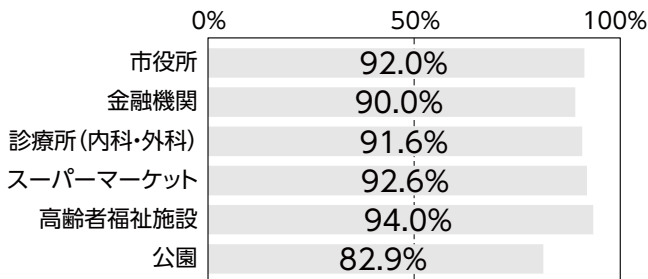
周辺人口が少ない、または公共交通で利用し
にくい立地の施設は、人口減少に伴い顧客の確保が
困難になり、流出・撤退の可能性が高くなります。

課題② 都市機能増進施設の立地誘導とアクセス性の向上による利用人口の確保

都市の暮らしやすさから見た課題

- ・市街地に日常的に使う施設が点在している
- ・鉄道の運行頻度1本/時間。塩沢市街地や集落
ではバスの運行頻度10本/日未満

各施設への移動に自家用車を利用する人の割合



出典 令和3年度市民意識調査結果

施設利用者の9割が自家用車に依存



運動機会の減少、
体力の低下、生活習
慣病リスクの上昇



ウィンドウショッピング
などによる立ち寄り機会の
減少、人々の交流機会の減少

課題③ 運動しやすく、徒歩・自転車による
滞在・回遊性の高いまちなかの整備

都市の財政状況から見た課題

収入：市税の減収

支出：扶助費やインフラ更新費の増加



医療費の
負担



老朽施設の建替
え・長寿命化

人口減少による
税収の減少が進む
一方で、高齢者医
療の扶助費、老朽
化した施設の更新
費の増加などによ
り支出の増加が見
込まれる。

課題④ コンパクトなまちの形成を通じた投資
の集中による財政のひっ迫への対応

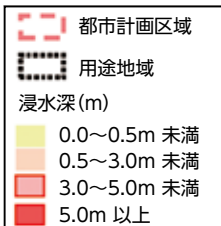
災害リスクから見た課題

六日町市街地



※区域の詳細は計画策定
にあわせて公表予定

想定最大規模
(1回/1000年)



魚野川周辺で
災害リスクあり

課題⑤ 治水対策事業に応じた段階的な災害
リスクの回避・低減策の推進